

平成23年度
実施事業

事務事業名	登別市民生委員児童委員協議会補助金
-------	-------------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	1	地域で支え合う福祉活動の確立
小分類	2	地域福祉の推進
主要な施策	2	地域を支える仕組みづくりと福祉ネットワークの充実
事務事業番号	004	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	民生委員児童委員の活動の充実や民生委員児童委員の連携を図り、市内各地域の社会福祉の充実を目指す。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市内各地区の民生委員児童委員協議会の相互連携と、活動の充実及び民生委員児童委員の連携を図るため補助金を交付し支援する。 <ul style="list-style-type: none"> 活動費 1,729,000円 全国民生委員児童委員連盟会費 650,000円 全国民生委員児童委員互助共励事業会費 247,000円 全国民生委員児童委員互助共済掛金 130,000円 全国民生委員児童委員連合会負担金 91,000円 主な活動実績 <ul style="list-style-type: none"> 地区民協（市内6地区民生委員児童委員）地区長会議 11回 北海道民生委員児童委員連盟関係行事参加 12回 社会を明るくする運動行事参加 研修（地区民協、社協・民協合同研修等） 13回 民生委員児童委員～市内担当区域の家庭調査・訪問、相談、関係機関との連絡調整
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	誰もが安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」に積極的に取り組むため、民生委員児童委員の活動に対して支援する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	民生委員法、民生委員法令行令、児童福祉法


事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算見込	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,847	2,847	2,847	2,847	2,847
事業費 合計			2,847	2,847	2,847	2,847	2,847

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	相談・指導件数（年度ベース）	件	目標値	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
			実績値	9,073	8,582			
			目標値					
			実績値					

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
市からの補助金のほとんどは民生委員児童委員の活動や研修等の費用となっており、補助が見込めないと活動に支障が出ることは確実である。	補助を継続することで民生委員児童委員の活動の充実や、市民が安心して生活することが出来る「福祉のまちづくり」の推進に寄与することができる。



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	各地区民生委員児童委員協議会の相互連携、活動の充実及び民生委員児童委員の連携を図るため妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	民生委員児童委員は、社会奉仕の精神をもって地域住民のあらゆる相談に応じ、必要な指導・援助を行う等社会福祉の増進に努めており、必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	各種研修会への参加等により、民生委員児童委員の資質の向上が図られるため、効率性は高い。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	担当地区での問題や相談を市や関係機関と連携し的確に対応している。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	高齢者や障がい者の増加と共に少年非行や児童・高齢者虐待・孤独死等の社会問題が山積する中で、地域住民の相談役として活動する民生委員児童委員の役割がますます重要となってくることから、当該協議会を支援していく必要がある。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価

維持	備考	
----	----	--